

第2次 札幌市まちづくり戦略ビジョンを学ぼう 解説書



この解説書の位置付け

この解説書は、第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンを題材としたデジタル教材「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンを学ぼう」を御利用いただく際の参考として、先生用に作成したものです。
この教材に関して御不明な点がございましたら、最終ページの連絡先へ御連絡をお願いいたします。



活用に当たって

札幌市は、2022年（令和4年）に市制施行100周年を迎えました。魅力的なこのまちを次の世代に引き継いでいくため、持続可能なまちづくりを進めていくとともに、都市としての価値を創造し、高めていく必要があります。

そこで、市民、企業、行政などの多様な主体が札幌市の目指すべきまちの姿とまちづくりの方向性を共有し、共に取り組んでいくために、次の新たな100年の礎となる今後10年のまちづくりの基本的な指針として、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定しました。

この第2次戦略ビジョンの内容を、将来を担う子どもたちにも広く知ってもらい、今後の札幌の将来について考えてもらうことが、よりよい札幌の未来を創造していくために重要であると考えております。

つきましては、この第2次戦略ビジョンを題材に、主に中学校3年生社会科に向けた副教材として、デジタル教材を作成いたしましたので、公的分野の教科書「新しい社会 公民」の終章「よりよい社会を目指して」の授業をはじめ、様々な学習に御活用いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

歴史

ポイント

- 1869年（明治2年）、開拓使が設置され、蝦夷地を北海道と改称
- 1922年（大正11年）に「札幌市」が誕生し、本格的な都市基盤の整備が開始⇒札幌市制の始まり
- 1972年（昭和47年）の冬季オリンピック競技大会を契機に、地下鉄や地下街など都市の骨格となる**インフラ整備が進んだ**
- 1997年（平成9年）には現在の**10区体制**になり、2015年（平成27年）には人口が**195万人に到達**
- 2022年（令和4年）に札幌市制100周年を迎えた

☆活用しやすい学年・教科・単元等

教科等(学年)	単元等	活用例等
社会科(2年地理)	日本の諸地域(北海道)	● 自然環境と開発、歴史や文化と札幌の歴史や発展とを関連させる。
社会科(2年地理)	地域の在り方	● 地理の学習のまとめとして、札幌市を地域とした課題探究的な学習の資料とする。 ● 北海道の中心地である札幌市の目指すべき都市像と重要概念を把握し、北海道の課題やこれから取り組むべきことを考える資料の一つとして活用する。
社会科(2年歴史)	近代国家の歩みと国際社会(明治維新の諸政策、北海道の歴史など)	● 開拓使の設置、屯田兵による北海道開拓、官営工場の設立などと札幌の歴史とを関連させる。
社会科(3年歴史)	現在に続く日本と世界(高度経済成長による変化など)	● 高度経済成長による国内の変化に関連して、札幌の変化・発展を知る資料とする。
社会科(公民)	現代の民主政治と社会(地方自治と私たち)	● 地方自治のまとめとして、札幌市を地域とした課題探究的な学習の資料とする。
校外学習(特別活動) 総合的な学習の時間	校区や地域の魅力・歴史などを題材とした探究的な学習	● 調べ学習やフィールドワークなどの参考資料とする。

魅力・特徴

ポイント

- **豊かな自然環境**
緑被率(りよくひりつ:まちの中に林や農地などの緑がある割合)は政令指定都市のなかでも上位
- **変化に富んだ気候**
人口100万人以上の大都市で唯一、年間5mもの降雪量⇒世界的にも珍しい、雪と共存するまち
- **都市機能の充実**
地下鉄などの公共交通機関が整備されているほか、大学などの研究機関、ICT関連企業、医療機関などが集まっている
札幌文化芸術劇場(hitaru)を始めとして、札幌芸術の森や札幌コンサートホール(Kitara)などの施設が整備され、市民が身近に文化芸術を親しむ環境が整っている
- **都市としての高いブランドイメージ**
民間調査機関による市区町村魅力度ランキングで1位(2023年調査)⇒全国的に高い評価
- **食の魅力**
北海道は食料自給率が全国都道府県中1位であり、北海道産の農畜水産物が国内の食を支えている
北海道内において食品製造事業者や飲食店が多く集まる札幌市は、新鮮で美味しい「食」が魅力
- **観光満足度の高さ**
年間を通じて多彩なイベントが開催(YOSAKOIソーランまつり、さっぽろオータムフェスト、さっぽろ雪まつり等)
「食」や「ショッピング」等の都市観光に強みを持ち、交通アクセスの利便性も高い⇒国内外の観光客から高い評価
- **住みやすさ**
札幌圏は関東圏・近畿圏と比べて通勤・通学時間が短いほか、市内の賃貸住宅の1か月当たりの家賃やオフィス賃料が他都市と比べて安価で、ゆとりある都市生活が可能
民間調査機関による「住みよい街」の都道府県庁所在地別ランキングでも上位

☆活用しやすい学年・教科・単元等

教科等(学年)	単元等	活用例等
社会科(2年地理)	日本のさまざまな地域(身近な地域の調査、日本の地域的特色)	●札幌市を地域として課題を設定し、調べまとめる学習の資料とする。 ●自然・地形・災害・産業などについて、学習内容と札幌市を関連付ける資料とする。
社会科(2年地理)	日本の諸地域(北海道)	●自然環境と生活、観光や歴史と札幌の特色を関連させる。
社会科(2年地理)	地域の在り方	●地理の学習のまとめとして、札幌市を地域とした課題探究的な学習の資料とする。
社会科(公民)	現代の民主政治と社会(地方自治と私たち)	●地方自治のまとめとして、札幌市を地域とした課題探究的な学習の資料とする。 ●札幌市の地方財政が札幌市の気候や人口、観光などの特色とどのような結びつきをしているかを捉える資料の一つとして活用する。
社会科(公民)	私たちの暮らしと経済(これからの経済と社会)	●循環型社会やまちづくりへの住民参加の学習内容と札幌市を関連付ける資料とする。 ●札幌市の地方財政が札幌市の気候や人口、観光などの特色とどのような結びつきをしているかを捉える資料の一つとして活用する。
校外学習(特別活動)総合的な学習の時間	校区や地域の魅力・歴史などを題材とした探究的な学習	●調べ学習やフィールドワークなどの参考資料とする。

人口

ポイント

- 札幌市の人口の自然動態は、死亡数の増加などを受け、2009年(平成21年)以降はマイナス
- 一方、市外からの転入者が多く、社会増加数が自然減少数を上回ることによって、人口増加が続いていた
- しかし、増加の一途をたどってきた札幌市の人口は減少局面を迎え、今後、人口構造の変化が予想される
- 65歳以上の高齢者人口は2040年代にピークを迎え、約4割を占める見込み
2021年(令和3年)の合計特殊出生率は1.08⇒全国平均に比べて低い
- 20歳代の若年層の道外への転出超過の傾向も続いており、生産年齢人口は更に減少
推計では2040年代に生産年齢人口が100万人を割る見込み

☆活用しやすい学年・教科・単元等

教科等(学年)	単元等	活用例等
社会科(2年地理)	日本のさまざまな地域(身近な地域の調査、日本の地域的特色)	●札幌市を地域として課題を設定し、調べまとめる学習の資料とする。 ●日本の人口の特色について、学習内容と札幌市を関連付ける資料とする。
社会科(2年地理)	日本の諸地域(北海道)	●北海道の歴史と札幌の役割や発展、人口集中を関連させる。
社会科(2年地理)	地域の在り方	●地理の学習のまとめとして、札幌市を地域とした課題探究的な学習の資料とする。
社会科(公民)	現代の民主政治と社会(地方自治と私たち)	●地方公共団体の課題の学習内容と札幌市を関連付ける資料とする。
社会科(公民)	私たちの暮らしと経済(これからの経済と社会)	●少子高齢化と財政の学習内容と札幌市を関連付ける資料とする。
校外学習(特別活動)総合的な学習の時間	校区や地域の魅力・歴史などを題材とした探究的な学習	●調べ学習やフィールドワークなどの参考資料とする。

ポイント

●価値観やライフスタイルの多様化

価値観やライフスタイルが多様化する中、互いの個性や多様性を認め合い、誰もが生きがいと誇りをもち、格差なく安心して暮らすことができる社会を目指すことが重要
心のバリアフリーを推進していくことや、子どもの貧困、児童虐待などの様々な課題に対応していくことが求められる

●人生100年時代の到来

少子高齢化の進展⇒生涯にわたって充実した人生を可能にする社会を目指すことが重要
生涯学習や多様な就労などの社会参加ができる環境の整備、健康寿命の延伸を図る取組が求められる

●デジタル技術の急速な進歩

急速に進化しているデジタル技術を活用しながら、地域を活性化していくことが重要
社会全体のデジタル化を進めるとともに、デジタル格差による不公平が生じない対策も求められる

●気候変動などに伴う地球規模での環境保全の動き

気候変動による災害が世界各地で頻発しており、環境保全の取組が重要
省エネの促進や再エネへの転換等を進め、持続可能な脱炭素社会の形成が求められる

●都市のリニューアル

1972年冬季オリンピック競技大会を契機に集中的に整備した公共施設等の老朽化が進行
一方、2030年度末に北海道新幹線の札幌延伸・開業予定であり、
このような機会を最大限活用した都市のリニューアルを進めていくことが求められる

●頻発する自然災害

地震や大雨、大雪等、自然災害が頻発し、各地域で大きな被害
被害や影響を最小限に抑えていくことや、被災後の迅速生活再建支援に向けた取組が求められる

●新型コロナウイルス感染症の感染拡大

新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常生活や社会経済活動に大きな影響
医療機関や民間企業との連携体制を整え、必要な支援を確実にこなしていくこと、社会変化にも対応できる強い産業構造を実現するための取組が求められる

☆活用しやすい学年・教科・単元等

教科等(学年)	単元等	活用例等
社会科(2年地理)	日本のさまざまな地域 (身近な地域の調査、日本の地域的特色)	●札幌市を地域として課題を設定し、調べまとめる学習の資料とする。 ●日本の自然災害の特色と防災について、学習内容と札幌市を関連付ける資料とする。
社会科(2年地理)	日本の諸地域(北海道)	●北海道の産業の特色と札幌の発展や課題を関連させる。
社会科(2年地理)	地域の在り方	●地理の学習のまとめとして、札幌市を地域とした課題探究的な学習の資料とする。
社会科(公民)	現代の民主政治と社会 (地方自治と私たち)	●地方公共団体の課題の学習内容と札幌市を関連付ける資料とする。
社会科(公民)	地球社会と私たち (これからの地球社会と日本)	●持続可能な社会を形成するための視点から考える際の資料として活用する。
校外学習(特別活動) 総合的な学習の時間	校区や地域の魅力・歴史などを 題材とした探究的な学習	●調べ学習やフィールドワークなどの参考資料とする。

都市像と重要概念・基本目標

これまで見てきた「歴史」「魅力・特徴」「人口」「社会情勢」を踏まえると、これからの札幌市は人口減少の緩和を進めることはもとより、人口構造をはじめとする様々な変化に大きな影響を受けず、その変化を積極的に生かし持続的に成長していくことが必要



札幌市の特徴である「ゆき」や「みどり」といった自然の恵みが守られ、生かされた中で、あらゆる世代の多様な「ひと」が交わり、新しい時代にふさわしい真に豊かな暮らしを創ること、様々な分野において新たな価値を生み出すことで、「世界をリードする持続可能な都市」を目指す



そのためには、誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなっていること、誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できていること、誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できることが重要

目指すべき都市像

「ひと」「ゆき」「みどり」の織りなす輝きが、豊かな暮らしと
新たな価値を創る、持続可能な世界都市・さっぽろ

まちづくりの重要概念(キーワード)

ユニバーサル (共生)

誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会
を目指すための概念(キーワード)



誰もが多様性を尊重し、互いに手を携え、心豊かにつながる。また、支える人と支えられる人という一方向の関係性を超え、双方向に支え合うこと。

ウェルネス (健康)

誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会
を目指すための概念(キーワード)



誰もが幸せを感じながら生活し、生涯現役として活躍できること。身体的・精神的・社会的に健康であること。

スマート (快適・先端)

「誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できる社会」
を目指すための概念(キーワード)



誰もが先端技術などの利点を享受でき、生活の快適性やまちの魅力が高まっていること。誰もが新たな価値や可能性の創出に向けて、挑戦できること。

☆活用しやすい学年・教科・単元等

教科等(学年)	単元等	活用例等
社会科(2年地理)	日本のさまざまな地域 (身近な地域の調査)	●札幌市を地域として課題を設定し、調べまとめる学習の資料とする。
社会科(2年地理)	日本の諸地域(北海道)	●北海道の産業の特色と札幌の発展や課題を関連させる。 ●北海道の中心地である札幌市の目指すべき都市像と重要概念を把握し、北海道の課題やこれから取り組むべきことを考える資料の一つとして活用する。
社会科(2年地理)	地域の在り方	●地理の学習のまとめとして、札幌市を地域とした課題探究的な学習の資料とする。
社会科(公民)	個人の尊重と日本国憲法 (人権と共生社会)	●札幌市のまちづくりについて、人権という視点から考える際の資料とする。
社会科(公民)	現代の民主政治と社会 (地方自治と私たち)	●地方公共団体の課題の学習内容と札幌市を関連付ける資料とする。
社会科(公民)	地球社会と私たち (これからの地球社会と日本)	●持続可能な社会を形成するための視点から考える際の資料として活用する。 ●今後、札幌市においてどのような政策が必要となってくるか、課題を把握して持続可能な社会を形成するための視点をもつ際の資料として活用する。
校外学習(特別活動) 総合的な学習の時間	校区や地域の魅力・歴史などを 題材とした探究的な学習	●調べ学習やフィールドワークなどの参考資料とする。

レポート作成

ここでは、レポート作成の手順をご説明しますが、これによらず、自由に授業を進めていただいても結構です。レポート作成は、生徒が自分の考えで自由に記載していくものと考えますが、参考として「レポートへの記載例」を示します。

(1) テーマを選択しよう

「人口」「子ども・若者」「生活・暮らし」「地域」「安全・安心」「経済」「スポーツ・文化」「環境」「都市空間」のうち、一つを選択します。また、なぜそのテーマを選択したのか理由を記載します。

(2) 資料を読み取ろう

テーマを選択する際、特に注目した資料と、その資料から読み取ったことを記載します。

(3) 札幌市の将来の課題を考えよう

資料からの読み取りや、知っていることから、将来の課題などを記載します。

(4) 課題を解決する取組を考えよう

(3) で示した課題を解決するために取り組むべきことを記載します。

(5) より良いまちにしていこうためにはどうすればよいか考えよう

生徒の自由な発想で、札幌をよりよくしていくための取組や、自分たちがどんなことに関わることができるのかを記載します。

レポートへの記載例

【人口】

資料から読み取れること(一部抜粋して記載しています)

- 札幌市の人口の推移
- 人口の推移と長期的な見通し
→札幌の人口はこれまで一貫して増加してきたが、今後は減少していく見通しである

課題の例

- 労働者・消費者の減少による経済規模の縮小
- 公共交通の利用者減少により、公共交通の維持が困難になる
- 特に郊外の住宅地の人口密度が低下することにより、上下水道などの都市基盤の維持保全や除排雪の効率が低下 など

解決する取組の例

- 人を呼び込むための魅力的な雇用創出・都市づくりを進める
- 結婚・出産・子育てがしやすくなる環境を整備する など

【子ども・若者】

資料から読み取れること（一部抜粋して記載しています）

- 仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合
→もともと5割未満と低いが、近年はさらに低下傾向にある
- 20～29歳の道外への転出超過数
→20代の多くが（進学や就職にあたり）道外に出て行ってしまっている

課題の例

- 子育てへの負担感を抱える市民が増加している
- 若者が道外に流出している など

解決する取組の例

- 子育て世代の交流や助け合いなどを促し、社会全体で子育てを行う意識を育む
- 男性による家事や育児の実践を支援し、性別問わず働きながら子育てできる環境を整備する
- 若者にとって魅力的な教育環境や雇用環境を整備する など

【生活・暮らし】

資料から読み取れること（一部抜粋して記載しています）

- まちのバリアフリー化が進んでいると感じる市民の割合
→約5割程度であり、バリアフリー化が進んでないと感じている市民が多い

課題の例

- 一人暮らしの高齢者割合が多くなり、高齢者の孤立死が増える
- 高齢者や障がいのある人が移動に困難を抱えている

解決する取組の例

- 高齢者と積極的にふれあう機会に参加する
- 高齢者向けの相談や支援の制度を充実させる
- 建物や道路のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入を進める

【地域】

資料から読み取れること（一部抜粋して記載しています）

- 地域に密着した組織基盤・施設基盤
- 町内会などの加入状況
→町内会・自治会の加入率は減少傾向にあり、地域の活動（例えばごみ拾いやお祭りなど）の減少が懸念

課題の例

- 町内会の加入率が減少し、町内会活動が減っていく
- まちづくり活動へ参加している市民の割合が低い など

解決する取組の例

- ごみ拾いやお祭りなど、町内会活動やまちづくり活動へ積極的に参加する
- まちづくり活動について、どんなことができるのかみんなで話し合う など

【安全・安心】

資料から読み取れること（一部抜粋して記載しています）

- 災害に対する備えを行っている市民の割合
→ 約9割と多くの市民が備えを行っているが、備えを行っていない市民も一定数いる

課題の例

- 地震や大雨などの大規模な自然災害が頻発している
- 防災活動へ参加する市民が少ない など

解決する取組の例

- 災害時の情報発信の強化（災害の情報がすぐに届くようにする）
- 災害に備えてみんなで防災の勉強や訓練をする など

【経済】

資料から読み取れること（一部抜粋して記載しています）

- 総人口に占める女性の割合
- 男女別有業率
→ 札幌は女性の割合が多いが、女性の有業率は低い
- 都道府県別食糧自給率
- 食料品製造業における粗付加価値率
→ 北海道は豊富な食資源を持っているが、それを加工などにより価値を高めている割合は低い

課題の例

- 女性や高齢者の有業率が低い
- 1次、2次産業が弱く、価値の高いものづくりが充分にできていない など

解決する取組の例

- 就職活動の支援や働きやすい職場環境づくりを進め、誰もが働きやすいようにする
- ものづくりなど2次産業を強化する
- 北海道の食資源を生かして、価値の高い商品を作り出す（高付加価値化） など

【スポーツ・文化】

資料から読み取れること（一部抜粋して記載しています）

- スポーツ（運動）をする市民の割合
- ウィンタースポーツ実施率
→ スポーツをする市民の割合が低く、特に冬のスポーツ実施率が低い

課題の例

- 市民のウィンタースポーツ実施率は減少傾向にある
- 子どもの体力・運動能力などの全国調査で、札幌の子どもの体力は全国平均よりも低い など

解決する取組の例

- 夏でも冬でも気軽にスポーツできる場所を増やす
- 国際的なスポーツ大会や文化芸術イベントを開催し、市民のスポーツや文化芸術活動への関心を高める など

【環境】

資料から読み取れること(一部抜粋して記載しています)

- 部門別二酸化炭素排出量割合
→札幌市は全国や北海道と比較して、特に「民生家庭」部門からの排出量が多い((原因は冬の暖房)
- 太陽光発電設備の導入状況
- 燃料電池自動車・電気自動車の市内普及台数
→再生可能エネルギーの導入は一定の割合で進んでいる

課題の例

- 札幌は積雪寒冷地であるため、冬の暖房利用によるエネルギー消費が多い
- 再生可能エネルギーの導入件数は鈍化しており、ゼロカーボン実現のためには更なる導入拡大が必要など

解決する取組の例

- 冬の暖房エネルギー消費を抑えるため、高断熱・高気密の住宅建設の補助を行う
- 再生可能エネルギー導入を行っている事業への認定制度などにより、再生可能エネルギー導入を促すなど

【都市空間】

資料から読み取れること(一部抜粋して記載しています)

- 公共交通の整備状況
→札幌市は公共交通が充実している

課題の例

- 公共交通利用者の減少や運転手不足などによりバスの運行便数が減少している など

解決する取組の例

- 地下鉄や路面電車、バスの乗継を便利にして、より公共交通機関を利用しやすくする など

編集に協力していただいた先生(令和6年1月時点)

- 太田 和幸(月寒中学校 校長)
 今 直道(信濃中学校 教諭)
 中里 有輝(太平中学校 教諭)
 田中 千晴(陵北中学校 教諭)
 佐藤 雅哉(教育委員会 教育課程担当課 指導主事)

<本教材・解説書に関するお問い合わせ先>

札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 企画課
 TEL:211-2192 FAX:218-5109 E-Mail:ki.kikaku@city.sapporo.jp